

## 努力の意義とは

北進ゼミナール

パリ 2024 オリンピックが終了した。日本は金メダル 20 個を獲得していて、海外開催のオリンピックでは過去最多とのことである。実際、資料 I で示す通り各国と比べてもなかなか優秀な成績であったことが分かる。このようにメダルの獲得数や獲得者に目が行きがちであるが、ここでは敢えて女子柔道 52 kg 級個人二回戦で敗退を喫した阿部詩選手を取り上げて話を進めてみたい。団体戦ではその一員として銀メダルを獲得しているが、それよりも個人戦の試合直後に大号泣していた彼女の姿と、その彼女を励まそうと会場で自然発生的に沸き起こった「UTA! UTA!」コールが強烈に印象に残っているからである。

オリンピック前、阿部詩選手は兄の一二三選手と共に多くのメディアで金メダルの有力候補者として取り上げられていた。そんな特集番組をただぼんやりと視聴していただけた私にも、彼女の「金メダルを取りたい」という強い思いと、ケガとも戦いながら必死に続けてきた努力がひしひしと伝わってきた。だから私も「金メダルが取れるといいね…」と思っていたのだが、現実は残酷だった。外野の「泣き過ぎでみっともない」というコメントも目にしたが、私自身は彼女の今までの努力の大きさを物語っているように感じて不憫でならなかった。思わずもらい泣きしてしまったほどだ。同時に、努力しても本人の願うタイミングでは報われないこともあるという現実の厳しさを改めて痛感している。

では、時に報われないこともある努力の意義とは一体何なのだろうか。一般的に努力とは目標を達成するための手段と捉えられている。しかし、前述のように必死に努力しても目標に届かない場合もある。目標達成を信じきれないとするなら、時に辛かったり苦しかったりする努力など放棄したくなるのが人の性というものだ。ここは一つ努力自体に別の意義を見出していく必要があるだろう。再び阿部詩選手の試合後の様子を振り返ってみたい。観客のエールは確かに会場全体に響き渡っていた。これは彼女の過去の戦績や努力の姿勢がフラッシュバックして声援を送る人が多かったことの表れではないか。そうであるのなら努力は単なる手段という位置づけから脱却できる。誰かの努力は人の心を揺り動かし何らかの行動を生み出す原動力になると言えるからだ。一人ひとりの努力が周囲に波及し、それに触発された人々がそれぞれの立場で正しい行動を起こしていけば世の中全体にも良い循環をもたらすだろう。また、当の本人にとっても努力は幸せの原動力となり得る。努力によって自分の可能性を追求することはそもそも人の欲求の一要素であるし、努力を続けることで目標までの距離がよりはっきりと認識できるようになるからだ。その結果、目標を修正するという新たな選択肢が生まれてくるかもしれない。まさに努力の甲斐があって初めて見えてくる景色だ。努力は決して無駄にはならないのである。

阿部詩選手はロサンゼルス 2028 オリンピックでのリベンジを新たな目標としたようだ。このように素早く切り替えて新たに始動していく姿勢をぜひ見習って、一人ひとりがどの分野で努力するかを決めて動き出してみよう。そして、せっかくなら報われる可能性が高い分野で努力することをお勧めしたい。その一つが教科の勉強である。知識が増えれば視野も拡大する。そうするとより多くの選択肢から次の目標を見つけられるようになる。ここで資料 II を見て欲しい。特に大切なのは成果がなかなか出ないからと言って自分から先に努力を放棄しないようにすることだ。努力することそのものが世の中にも自分自身にも幸せをもたらす原動力になると信じて。

以上

□資料Ⅰ パリ 2024 オリンピックにおけるメダル獲得実績(金メダル獲得数順)

| 順位 | 国名      | 金  | 銀  | 銅  | メダル計 |
|----|---------|----|----|----|------|
| 1  | アメリカ    | 40 | 44 | 42 | 126  |
| 2  | 中国      | 40 | 27 | 24 | 91   |
| 3  | 日本      | 20 | 12 | 13 | 45   |
| 4  | オーストラリア | 18 | 19 | 16 | 53   |
| 5  | フランス    | 16 | 26 | 22 | 64   |
| 6  | オランダ    | 15 | 7  | 12 | 34   |
| 7  | イギリス    | 14 | 22 | 29 | 65   |
| 8  | 韓国      | 13 | 9  | 10 | 32   |

出典：IOC 公式 HP 「メダル獲得数」より上位 8 国抜粋して引用

【参考情報】上記各国の人口(2022 年時点)と国際的な位置づけ

| 国名      | 人口(百万人) | 国際的な位置づけ       |
|---------|---------|----------------|
| アメリカ    | 338     | 先進国(G7 の一員)    |
| 中国      | 1425    | 新興国(BRICS の一員) |
| 日本      | 124     | 先進国(G7 の一員)    |
| オーストラリア | 26      | 先進国            |
| フランス    | 64      | 先進国(G7 の一員)    |
| オランダ    | 17      | 先進国            |
| イギリス    | 67      | 先進国(G7 の一員)    |
| 韓国      | 51      | 先進国            |

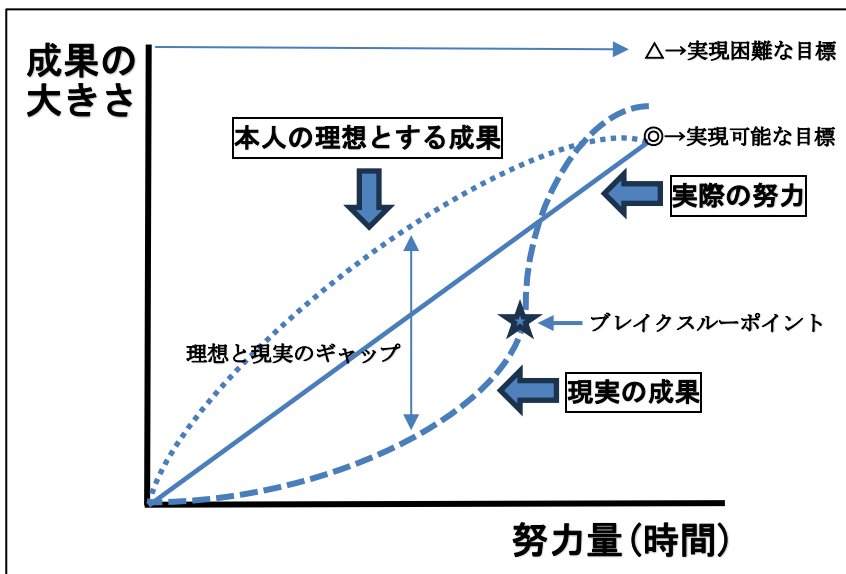
注 1：OECD(経済協力開発機構)に加盟する 38 ヶ国が一般的に先進国とされる。

注 2：G7 はフランス・アメリカ・イギリス・ドイツ・日本・イタリア・カナダの主要先進 7 ヶ国を指す。

注 3：BRICS はブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカを指し、著しい経済発展が見込める国とされる。

出典：総務省統計局「世界の統計」・経済産業省「OECD 加盟国」他より上記 8 ヶ国を抜粋して引用

□資料Ⅱ 努力と成果の関係について



## 努力の意義とは

今回はパリ 2024 オリンピック女子柔道個人戦のできごとをモチーフにして、努力することの大切さを改めて分かってもらおうと考えました。課題文や資料Ⅰ・資料Ⅱに目を通した上で、以下の条件に従って常体語(「～だ」「～である」調)で作文を書いてください。

なお、課題作文は以下の手順に従って **3日に分けて**取り組んでください。また、**(3)**でテンプレートが示されていますが、それにこだわる必要はありません。(1)(2)の条件を守れば自由に書いて構いません。

**(1)指定作文用紙に 800 字以内で書くこと。タイトルは不要です。**

**(2)以下の順番で目安時間(3 日間合計 3 時間以内)を意識して進めてください。**

- ①【**初日 20 分程度**】課題文に目を通し、今回のオリンピックに出場した選手の中であなたの印象に残っている人(「特にいない」という場合には、頑張っている人を見て感動した体験)を挙げて、その理由や思いを 100～150 字程度で下書きしてください(いきなり原稿用紙に書き始めないようにしましょう)。
- ②【**初日 20 分程度**】資料Ⅰ(参考情報も含みます)に目を通し、読み取れたことや考えたことを 100～150 字程度で下書きしてください(同上)。
- ③【**初日 20 分程度**】課題文の第三段落と第四段落に努力についての筆者の考えが述べられていますが、それに対する自分自身の意見や感想を 100～150 字程度で下書きしてください(同上)。
- ④【**二日目 20 分程度**】資料Ⅱに目を通し、読み取れたことや考えたことを 100～150 字程度で下書きしてください(同上)。
- ⑤【**二日目 30 分程度**】自分が今行っている努力と目標、またはこれから始めようと思った努力と目標について、今回の課題を通じて学べたことを踏まえながら③と矛盾がないように注意して 200～300 字程度で下書きしてください(同上)。
- ⑥【**二日目 30 分程度**】①～⑤がつながるように接続詞を入れた上で、誤字脱字の訂正、句読点・助詞の点検及び修正などを行って 800 字に収まるようにして下書きで書いてください。なお、その際に主語と述語のねじれや話し言葉(「～だけど」)の多用に特に注意してください。
- ⑦【**三日目 30 分程度**】⑥で完成したものを最終確認しながら指定原稿用紙に清書してください。

**(3)書き方がよく分からないという生徒は以下のテンプレートを参考にして書いてください。**

- ① 今回のオリンピックに出場し、悔し涙を流していた選手の中で特に印象に残っているのは～である。なぜなら～だからだ。(100～150 語程度) 注)下線部は「何かに向けて頑張っている人」にしても可
- ② 一方で日本選手団全体としては健闘したと言える。資料Ⅰを見ると好成績であった国々には～のような特徴があることが読み取れ、私自身は～だと考えた。(100～150 字程度)
- ③ ところで、努力に対する筆者の意見についてだが、私は～なので～だと思う。(100～150 字程度)
- ④ また、資料Ⅱからは～であることが読み取れる。今までの経験を振り返ると～であったことが改めて理解できた。(100～150 字程度)
- ⑤ 今、私は～という目標に向かって～のような努力をしている(or 私はこれから～の分野で努力を始めようと思っている)。今回の課題を通じて～ということが学べたので、それを活かして～に注意しながら努力を続けていきたい。(200～300 字程度)

以上